

# 教育しが

滋賀県教育委員会

しが  
**滋賀 教育の日 11月1日**

●滋賀県の教育情報は…

滋賀県教育委員会 検索



も く じ

- 1面 特集 「読み解く力」を高めて、子どもたちの「わかった」「できた」を実現!
- 2面 特集 県立高等学校の魅力化に向けて  
幼児教育 “おもしろい!”が次から次へとやってくる  
特別支援教育 発達障害へのご理解を  
タイムリー記事 健やかな心と体を育む学校給食
- 3面 家庭教育 インターネットと子育て 小学生の保護者の皆さんへ  
タイムリー記事 主権者教育の充実～社会を担う資質・能力の育成～  
タイムリー記事 次世代アスリート発掘育成プロジェクト  
タイムリー記事 びわ湖ホール音楽会へ出かけよう!  
人権教育 自分に合った「できる」  
健康三原則 寒さに負けず、元気に運動!!

学ぶ力向上

第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プラン

今年度3年目です。

## 「読み解く力」を高めて、子どもたちの「わかった」「できた」を実現!

滋賀県教育委員会では、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校において、子どもたちの「読み解く力」を高め、「わかった」「できた」を実現する授業づくりに取り組んでいます。今年度は、さらにICTを効果的に活用した授業を進めています。また、基礎的・基本的な学習内容の定着や、家庭学習を充実させることを目指しています。

「読み解く力」とは・・・  
文章や図、友達とのやりとりなどから、様々な情報を読み解き理解する力、理解したことをもとに自分の考えを構築する力のことです。教科等の学習や普段の生活、本や新聞を読むことなどを通じて「読み解く力」を高めることができます。

### 小学校 (第2学年国語科)

### 登場人物の気持ちや行動を想像して読む学習



学習の目的を確認

体育学習発表会で  
お世話になった  
6年生に、お礼の  
気持ちをこめて、  
「ペーパーサート」  
(紙の人形劇)で物  
語を発表します。



言葉や文から登場人物の気持ちなど、想像したことを付け加えて音読しています。

一人で考えたり、話し合いたい相手を見つけ、意見を交流したりしながら想像を広げていきます。

教科書や本で言葉をていねいに確かめながら、何度も音読することで、物語に対する理解を深めます。



〇〇さんの想像したことがよくわかったよ。私ももう1回考えてみよう。

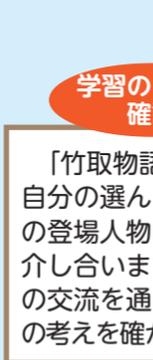
次の時間は動画を見直して、もっと、工夫しよう。

「わかった」を実感

発表の練習の様子をタブレットで撮影します。音読の変化や成長を、子どもたち自身が実感します。

### 中学校 (第1学年国語科)

### 場面展開や登場人物の関係などを理解して読む学習



学習の目的を確認

「竹取物語」を読み、自分の選んだイチオシの登場人物について紹介合います。友達との交流を通して、自分の考えを確かにします。

人物を紹介するために必要な情報を文章から読み取ります。



お互いの考えをタブレットで共有し、自分の考えを説明したり、友達の考えやその理由を聞いたりします。

登場人物の石上磨足(いそのかみのまるたり)には〇〇な一面もあるんだ!

よりよい紹介にするために、友達の見解を参考にしながら、もう一度まとめます。

「わかった」を実感

この内容を加えることで自分の考えが確かになった!

### 高等学校

#### 「読み解く力」育成のポイント

- 読み方の工夫  
「ここに注目して読む」「状況を説明できるように読む」など、読み方を焦点化する。
- 使い方や効果の説明  
読み方を身に付ければ、文章の意味が明確に把握できることを生徒に伝える。
- 意図的な練習  
学んだ読み方を練習する機会を意図的に与える。
- フィードバック  
目的に沿った読み方ができたかどうか、質疑応答を通して評価し、生徒にフィードバックする。

「読み解く力」育成セミナーを実施  
東京学芸大学 犬塚 美輪 准教授のアドバイスから

#### 学校での取組例

- 授業の振り返りを80字以内で客観的に記述する。
- 図やイラストを用いて分かりやすくまとめる練習をする。
- 答えだけでなく、プロセスや理由・根拠まで説明する。

#### 「読み解く力」を活用した探究学習の取組

生徒が自ら課題を設定し、解決に向けて情報の収集・分析や、他者との対話や協働を進めて学びを深め、まとめたものを表現します。「読み解く力」をもとに、自ら問いを見出し、探究する力を育成しています。

#### 探究学習発表会を実施



研究発表の様子 指導助言を受けている様子  
生徒がそれぞれのテーマについて取り組んできた学習の成果を発表し、指導助言者から「専門外の参加者にも理解できる素晴らしい発表だった。」と評価を得ました。さらに、生徒同士での意見交流を通して、新たな学びにつなげていきます。

学習を進めて、「できた」の実感へ

## 家庭学習で、子どもたちの「わかった」「できた」をさらにアップ!!

主体的に学習する習慣の定着に向けて

保護者の皆様へ～ご協力をお願いします～

家庭学習の時間を話し合って決めるなどして、子どもたちが集中して取り組む時間の確保をお願いします。家庭学習を見守り、ほめ、認めることで、子どもたちの学習がさらに充実します。

子どもたちが、右のような取組ができるよう言葉かけなどのご支援をお願いします。



教科書を読んだり、問題を解いたりして、学校の授業の予習や復習に取り組みましょう。くり返しのドリル学習を行うなどして、学んだことを身に付けましょう。

その日の授業でわかったことや疑問に思ったことなどを、お家の人と話すことで、学習内容の整理と、学びの定着につながります。

「苦手なこと」や「もっとわかりたいこと」から、自分で目標を決めて家庭学習に取り組みましょう。また、自分で計画を立てて定期テストに向けた学習や自主学習などを進めましょう。